



れんげ畑で・・・

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第117号

平成21年4月24日

緊縮現状維持型

平成21年度予算 2p

どうなる産湯海水浴場

一般質問 6p

積極的な町づくりを視察

委員会レポート 11p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

緊縮現状維持型予算

平成21年度予算

最重要課題の防災対策

一般会計	32億5,285万円
特別会計	15億2,059万円
予算総額	47億7,344万円

水道事業会計

収益的収入	2億 620万円
収益的支出	2億1,559万円
資本的収入	2,679万円
資本的支出	6,495万円

3月定例会は3月12日から14日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された同意一件、一般会計をはじめ議案13件、内6件の特別会計、水道事業会計。平成20年度報告1件、一般会計補正予算など議案4件内特別会計補正予算2件についてそれぞれ慎重審査の結果、原案のとおり可決し、25日に閉会した。

一般会計予算

歳入予算は

道路特定財源が一般財源化されたことにより、地方再生対策費も上乘せ増額交付となり厳しい町財政の中、財政調整基金からの繰り入れを1億2千万円と大きく抑制した予算である。

歳出予算は

最重要課題として防災対策、少子高齢化福祉対策、農林水産業並びに商業の振興など現状維持の前年度比3.9%の減額予算である。

一般会計

問 去年に引き続き学校給食費が値上げとなっている理由と金額は。

教育長 安心・安全な給食を提供したい思いの中、検討したところ小学校では245円から270円に、中学校では270円から300円に値上げせざるを得ない状況である。

問 日高町の将来計画である新総合計画の取り組みについての考えは。

町長 23年からの10年間の新たな総合計画については、今後の最も大事なことであり、議員さん、町民の方々にもご協力をいただきながらしっかりと取り組みたい。

問 福祉タクシーの助成事業委託料の詳細説明を。

住民福祉課長 ワンメーターの金額を補助するもので、事業全体を社会福祉協議会に委託している。

問 学童保育の人数と、

事業費851万1千円の負担割合と1人当たりの費用は。

教育課長 本年度は30名で、国・県の補助金は108万6千円、保護者負担は279万円、町負担は463万5千円、1人当たりの費用は28万370

0円である。

問 斎場業務一括委託の詳細説明を。

住民福祉課長 今回、火葬業務・開放業務等、斎場業務のすべてを一括して委託可能な株式会社昌栄メンテを考えている。

問 今年の温泉館（みちしおの湯）の入館者数とその努力目標は。

産業建設課長 7万1千人を見込んでいるが、本年度は値上げもあり厳しい。新しい催しも企画し入館者の増に努力する。

問 地籍調査については20年度で現地調査が終わり、21年度ですべての作業が終了すると、固定資産税の見直しになるのか。

税務課長 予定では22年度からやっている。していきたいと考えている。

問 小中学校費の扶助費、要保護・準要保護・児童就学援助費それぞれ

の人数と、就学援助費についてはどのように認定されているのか。
教育課長 中学校では18名、小学校では28名となっている。

要綱では「教育委員会が就学援助を必要と認める者」となっているが、明確な基準はなく今後検討する。

ていただきたい願いを込めて賛成討論とする。
山本 善啓 議員

反対討論

2年連続となる学校給食費の値上げ、保育所では、より一層派遣会社依存する傾向となってきた。

ク工のまちおこし応援歌関係費補助金の創設、このようなメリハリのあがる観光振興はいろんな産業振興につながると考え

温泉館では4400万円の収入に対して、20年度補正予算を含め1億600万円の支出であり、抜本的な対策が求められる。

今一番大事なことは、スピードある町長のリーダーシップであり、まちづくり・まちおこしに積極的な取り組みを要望し、賛成討論とする。
金崎 昭仁 議員

また、雇用のための交付金活用も今後の対応となっており、住民の福祉を推進する予算になっていないと考え、反対する。

本年度一般会計予算については、限られた財源の中で、幅広く配分されていることは認めるが、しかし依然として厳しい当町の基幹産業である農業、また日高町全般の産業、国からは地方再生活性化対策費が交付されている中で、産業振興にもっと積極的な取り組みを強く求めて賛成討論とする。

賛成討論

非常にやりくりの苦しい中、随所に工夫の跡が見られ、また、行革の効果が現れている。

楠 新一 議員

町長・職員が一丸となって日高町発展に頑張っ



本年度は利用者倍増を見込む（学童保育所）

特別会計

条例制定

下水道事業

問 個別型である浄化槽設置工事、39基が計上されているが、事業完了となるのか。

上下水道課長 市町村設置型として5カ年計画で実施してきた交付金事業としての個別型事業については本年度で全て完了となる。



今年度で下水道事業全体が完了（写真は高家処理場）

日高町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う固定資産税の特別措置に関する条例

集積区域内において設置した事業者が所有する家屋もしくは構築物またはこれらの敷地である土地に対して本町が課する固定資産税を3年間の課税免除を行う条例

問 集積区域とこの条例を制定している自治体は、**総務課長** 集積区域とは和歌山県で4市16町1村で紀中から南であり制定は全てである。

問 企業誘致について計画があるのか。
町長 現時点ではないが、企業誘致には前向きに全力を挙げて努力したい。

20年度一般会計補正予算

既定の予算総額に2億4511万7千円を追加し、37億2631万2千円とする。

主な内容

公用車（ハイブリッド車3台）購入費915万円。定額給付金1億2263万円、国保日高総合病院負担金1103万円、温泉館改修工事費4700万円、消防庁舎改修工事費985万円、志賀小学校校舎改修工事費3327万円、高家集会所改修工事費1389万円など。これらのうち、日高病院負担金を除く事業費、また、12月議会で予算計上したバス購入費については、21年度に繰り越した。

問 今回補正のハイブリッド車購入や4件の改修事業、どのような補助事業が適用されているのか。

総務政策課長 国の2次補正で決まった地域活性化・生活対策臨時交付金で交付金の主旨は、経済対策・景気対策が主なものである。

問 地域活性化対策として是が非でもやらなければならぬ事業なのか。

総務政策課長 この機会に補助制度がなく、起債対象とならない事業をピックアップした。

問 この事業全てが緊急性の高いものとは考えにくい。

9800万円の内3割を基金として予算計上出来たのではないかと。

総務政策課長 要綱では3割を基金として計上出来るが、この点も含め検討して決定した。



ハイブリッド公用車

一松 輝夫 議長



日高町の発展のため、また町民の皆様
の生活が暮らしやすいものになるよう最
善の努力をいたすつ
もりですので、皆様
のご協力をお願い
いたします。

市ノ瀬 進 副議長



2月の臨時議会に
おきまして、皆さん
のご支援により、副
議長に選出され心よ
り御礼申し上げます。
議長を補佐し円滑
な議会運営に努めて
いきたいと思えます。
今後ともよろしく
お願い申し上げます。

功績が認められての表彰

全国町村議長会において一松輝夫議長が多年に
わたり地域振興発展に寄与貢献された功績と議長
職7年以上の在籍として表彰を受けました。

また、郡議長会臨時総会において、前議長会長
が辞職したことにより、一松輝夫議長が会長に就
任しました。

早期の解決を求める

請願書



教育長 玉石 守氏

任期満了に伴い、再任することに
同意した。

産業教育常
任委員会は3
月定例会に提
出された「産
湯区の土地に
関しての請
願」について
審査した。

日高町の観
光資源の内、
産湯海水浴場
は年間数万人
の利用者があ
り、クエ・温
泉館とともに
日高町の観光
の柱となっている。
現在、問題となってい
る駐車場がなければ、海
水浴場としての開設は不
可能、従ってなくてはな
らない土地であること、
及び町内の産業全般が厳
しい状況の中、海水浴場
の閉鎖は、地域経済並び
に観光関連産業に及ぼす
影響が大きい。

また、開設できなけれ
ば夏場のシーズンには、
県道沿いや周辺の土地は
混雑し、大渋滞となり、
管理者もいないことから
海岸はゴミの山となる。
審査の中で、夏場の駐
車場の使用だけでなく、
他の公共用地としての活
用策なども考えてはどの
か。

また、土地の購入に対
しては、適正な価格で購
入すること。
運営管理等の受け皿作
りが必要不可欠であるな
どの意見があった。
採決した結果、全員賛
成して採択となった。
その後、本会議におい
て審査の結果、全員賛成
した。

平成20年7月の海開き



未来をきづく

Q & A いっぽん質問

どうなる保育士の派遣問題

町長 早期に結論を出す

市ノ瀬 進 議員

問 平成19年度より始めた委託業務について。当町は、保育士のみ派遣会社に委託している理由は。

町長 従来の臨時職員としての保育士は、御坊・日高地方においては人材不足であり、必要人員を確保することが非常に困難な状況にある。当町では、平成18年には必要人数を確保することができず非常に苦しい保育運営になり、保育業務の向上を常に考えていかなければならないにもかかわらず、現状を維持するのが精一杯であった。そこで和歌山県ではまだ実績がなかったが、全国的には派遣保育士が普及してきており、厳しい財政事情の中で保育の充実を図るには現時点では最良ではないかと判断し



充実した保育行政を

臨時保育士を派遣に切り替えた。

問 保育士の派遣は労働者派遣法40条の2の規定



で派遣期間は3年以内となっている。

日高町の場合は、平成19年4月より実施しており、平成22年3月末で終了となる。

それ以降どのように考えているのか。

町長 現段階では、これ以上同じ派遣保育士で派遣業務を続けることができないので、今後は、保護者の方々の意見を聞きながら、保育運営の向上のため、21年度中に方針を出し保護者・議会の皆様に、意見を聞いた上で早期に、結論を出したいと考えている。

給付金の支給時期は

問 定額給付金の支給方法について。

町長 総務省定額給付金室の調べによると、平成21年3月1日時点において、全国で698の市町村が、定額給付金の給付時期に合わせプレミアム付き商品券を商工関係団体、地方公共団体が、共同で発行を予定しており、それ以外に、消費拡大セーラーを予定している。

当町は、3月補正の予算編成時に、商工会と協議等をおこなったが、商品券発行については、今回は見合わすとの回答であった。

支給方法については、原則として口座振り込みの方法を予定している。

問 支給の時期について。

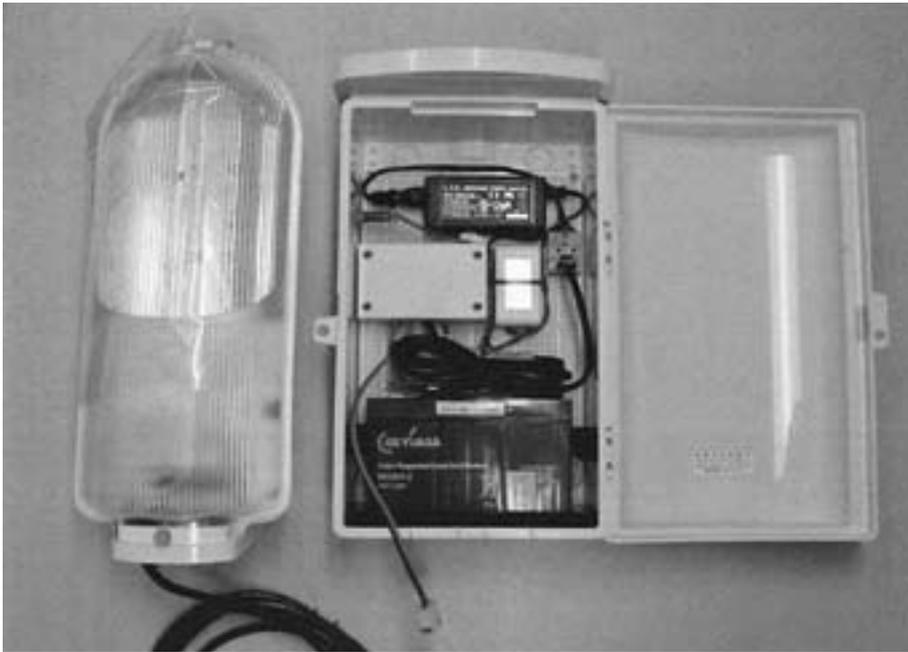
町長 申請書は、3月30日の送付を目標に。受付は4月6日から始め1階ロビー奥に専用窓口を設置する。8日から各地区に出向き、受付をおこないたい。一度に大量の口座振り込みをおこなう関係で金融機関との調整に時間がかかる関係から、4月下旬を予定している。



山本 源昭 議員

日高町地域防災計画を問う

町長 地域のため取り組む



停電対応街路灯

問 町内自主防災組織の設置状況は

町長 町内21地区の内、田杭・阿尾・産湯・小坂・比井・小浦・方杭・柏・上志賀・池田・原谷の11地区で設置されている。今年度、下志賀・谷口区が、準備を進めている。

問 未設置地区への取り組み状況は。

町長 災害時の地域の組織的な活動の重要性を訴え、働きかけを行っていききたい。

問 ヘリコプターの発着場所を海岸地区にも設置を。

町長 機動力のあるヘリコプターの活用は大変重要であり、救護物資や、負傷者等の搬送など幅広く活用できる。確保できる適地があれば設置したい。

問 比井小学校の運動場や、産湯海水浴場の駐車場の土地を確保してはどうか。また、産湯の土地については、色々な利用もできる。

町長 是非考えてはどうか。

町長 比井小については、小型ヘリコプターであれば、利用できる。

問 海水浴場の土地は、民間会社の了解が必要である。

町長 太陽光や風力を利用した避難誘導灯の設置を検討しては。



今後の利用方法は（産湯海水浴場）

町長 現在、調査を進めている。更に検討をしたい。

問 新聞記事では、由良町で今年度160基、約1300万円の予算で、停電時に対応できる誘導灯が計画されている。

いつまで検討されるのか。

町長 隣接町の現地を見て、補助金制度の活用をはかり、地域のため、設置に向けて取り組みたい。

天満 滋明 議員

半世紀を経過した橋

町長 次期長期総合計画にも考慮する



問 以前質問した『半世紀を経過した橋の改良』の答弁で「橋梁の長寿命化修繕計画策定事業により点検を実施しその結果を踏まえ、今後安全性向上に向け補修等十分に検討し考える」と言われたが、天満井橋の点検結果と今後の対応について伺いたい。

町長 欄干の腐食、小規模なびり割れ等の報告も受けており、平成21年度に点検結果を基に橋梁の修繕計画を策定し補修工事を行う。

天満井橋の改良については道路改良の中で架け替え等一体的に計画することが最良と考えるが、高家西線とリンクさせ、財政面も考慮し考える。

問 町長もこの橋を見て心の中では何とかしなければと感じていると思う。町の幹線道路で橋を通

過する際、速度を落とし徐行並みの早さで走行しなければならぬ道路は他には無いと思う。

答弁では補修していくとのことだが、根本的に

橋の架け替えをしない限り、南北線の道路整備は未完成のままだが、町長の見解は。

町長 現状は十分理解している。次期長期総合計画時にも十分考慮する。



改良が待たれる（天満井橋）

生ゴミの再利用を

問 地球的規模で様々な環境破壊が進んでいる今、今後、法規制や自治体などによる環境規制が強まるのではないかとと思われる。

多額の設備投資はできなくても、身近で取り組める環境対策があるのではないかと、例えば家庭や学校給食から出る生ゴミや、自然界にある生物資源を再利用する取り組みを考えて行くべきではないかと。

町長 環境問題については出来ることから取り組んでいかねばならない。現在、一事業所として地球温暖化対策実行計画を策定し職員全体で取り組んでいる。

また家庭から出る可燃ゴミも全体で年間約1400トンで生ゴミが大部分を占めている状態である。

問 廃棄する生ゴミ等を処理し、堆肥として田畑に還元し、それによって第一次産業での有機栽培として役立ててはどうか。当町でも、学校給食の残食で年間約4900kgが廃棄されており、この量は副食（おかず）だけで主食分を加えると更に増大する。

これらのことから将来に向け前向きに取り組んではどうか。

町長 現在の長期総合計画にもゴミ処理体制の充実を掲げているが、次期長期総合計画においても引き続き将来に向け、資源の有効活用や再利用に積極的に取り組んでいく。



清水 正巳 議員

どうなる産湯海水浴場

町長 十分相談の上取り組む



駐車場がなければ海水浴場は無理

問 産湯海水浴場前の土地（駐車場として借地）が売却予定地となつて問題になっているが、第三者に売却となると、駐車場なしの海水浴場となり開設は不可能に近い。またその後、(有)産湯海水浴場も、解散する旨報告があったが、クエ、温泉館とともに海水浴場も重要な観光資源である。現実をどのように考えているか。

町長 海水浴場の閉鎖は

郡内の観光ルートへの影響も大きいと考えるが、**町長** 閉鎖した場合はそういう問題が出てくるのはそのとおりだと思つて解決するには土地の問題と、運営管理者の問題があるが、日高町土地開発基金の中に数千万円の残高がある。これを買収資金として使えないか。

町長 全然使われないことではないと思つて。

温泉館、旅館、民宿と観光産業及び、地域経済に及ぼす影響が大きいと思つた。また海水浴場としても重要な土地であると考えられる。**問** 海水浴場として開設できなかった場合、海岸はゴミの山になり、道路は車であふれ、パンフレットその他から海水浴場の名前の削除作業等、大変な作業がある。

問 土地の話が進めば、運営管理者を検討しなければならぬが、あまり時間がない中、もう一度産湯側にお願ひしてはどうか、あるいは観光協会、商工会、漁業組合でも検討願えないか。**町長** 産湯区側で運営してもらつのが一番ありがたいと思つている。



これ以上の投資は？

温泉館を 指定管理者に

問 20年度6万8千人、21年度はおよそ6万人の入館者と見るが、売上げよりも投資金額の方がはるかに大きく、今後このような状態が続くと考える。

指定管理者制度等考えではどうか。**町長** 今まで検討したが、出した結果で取り組んでいる。今後皆様にご協力いただいて前向きに検討し取り組んでいく。

これ以上自治体で運営するのは無理ではないか。

西岡 佳奈子 議員

風力「推進」なら町長が前になるべき

町長 不確定要素があり、前に出るのは問題



西山

問 町内の風力発電計画の全体像は。

町長 19年度に西山と大平山、20年度に大平山第2が補助金認定を受けている。

そのほかの計画もあるが、実施するかどうかの判断は事業者であり、町が関与すべきではないと考える。

また、認可された事業

でも、計画を中止することもあると聞いている。

事業計画に不確定要素がある以上、町による事業計画の公表や地元説明は、不安を助長しかねず、計画が確立し次第、事業者と相談の上で公表していきたい。

地域のみなさんのご理解とご支援が得られない状態で、強引に事業を推

進する考えはない。

問 推進の立場から後退をしたと考えるとよいか。

町長 推進の気持ちは変わっていない。

問 健康被害に関する報道や自然環境に対する影響を考えると、私は現時点で風力発電を全面的に推進するという考え方に立てない。

慎重に考えるべきだと思いが。

町長 地球温暖化防止の観点からも非常に重要であり、地域のみなさんのご理解とご支援が得られれば推進していきたい。

問 そう考えるのであれば、健康被害や環境問題など、町の責任を明確にし、町長自身が説明すべきと思いが。

町長 事業の計画等に不確定要素がある以上、町が全面的に前へ出ていくのは問題も出てくると思う。

事業者と相談の上で取り組んでいきたい。

問 20年度補助金認定を受けた大平山第2風力計画についての認識は。

町長 大平山第2風力は大平山風力の増設と位置づけ、環境アセスメントの追加調査をし、2つの事業を合わせて再評価し、環境に与える影響は少ないと判断しているとのことである。

事業者が法令を遵守し、関係地区の同意を得られた場合には町として協力していきたい。



大平山

大平山第2風力計画 進め方が問題

問 大平山第2風力は大平山とは別の事業であり、アセスメントの追加調査で通るような話ではない。

きちんとしたアセスメントの実施も縦覧もせず補助金認定を受けている事業者であるジャネットクスに対して不信感を持つ。

町長 事業者としてやるべきことはやっていただいていると思っている。

町長 事業者としてやるべきことはやっていただいていると思っている。

町長はどうか考えるか。

事業者としてやるべきことはやっていただいていると思っている。

委員会報告

総務福祉

常任委員会

当委員会は2月26日に環境問題について委員会を開催した。

当日は住民福祉課より身近な環境問題について説明を受けた。

その中で町民から環境関連で、苦情処理の対応についての相談があると報告があり、苦情には、野焼き、不法投棄、油漏れ、犬の糞や鳴き声それに空き缶のポイ捨て等が多いと説明があった。

これらの件についての取り組み状況は、まず現地確認のうえ付近への影響調査をおこない、また区長及び関係機関と協議するなどして対応しているとのことであり、委員会の中でも町の広報紙に載せてはどうかとの意見もあった。

産業教育常任委員会

当委員会は、去る2月23日田辺市の農業法人(株)秋津野(秋津野ガルテン)を訪れ地域の農業等について視察研修をおこなった。

この地区はみかんと、将来のあり方について真剣な取り組みをしており、1年中みかんを出荷できるように、新品種を導入したり、ジュース工場を造ったりして、様々なハード事業やソフト事業を興し、地域住民を巻き込み、いつまでも元気な地域を目指している土地柄である。

そして昨年11月には約1億1千万円をかけて、旧木造校舎を住民出資での購入を決議、秋津野ガルテンがオープン、事業内容は農家レストラン『ミカン畑』、ミカンの木オーナー制度、貸し農園制度等々で、地域を支える会社を設立し、地域づくりの活動の場として位置づけていた。

また、所得の向上にともない担い手の確保、後継者づくりに魅力ある農業経営に取り組み、積極的な村づくり活動を自分たちで展開していると感じた。



秋津野ガルテンでの視察研修



きてら直売所

県単独医療費助成制度の 存続を求める意見書

人工透析患者を始め多くの患者は、和歌山県単独医療費助成制度(重度心身障害児・者、ひとり親家庭、乳幼児、老人)により、治療を受けながら社会の一員として社会生活を営むことができている。

しかし、昨年3月に和歌山県新行財政改革推進プランが策定され、その見直し案で示された内容は、一部とはいえ自己負担を強いるものであり、低所得者にとっては厳しい内容となっている。

県においては行財政改革を推し進める中であっても、住民の命と健康を守り、子育てを支援する制度として、かけがえのない本医療費助成制度を存続されるよう強く要望する。

以上の内容の意見書を県に提出した。

新しい議会構成

2月10日、臨時会を開催し、正副議長の選挙、各常任委員の選任、各組合議会議員の選挙等、議会構成をおこないました。



産業教育常任委員会

- 市ノ瀬 進 ○金崎 昭仁
- 山本 源昭 ◎清水 正巳
- 山本 善啓 楠 新一



総務福祉常任委員会

- 西岡佳奈子 清水 正巳
- 玉置 正之 ◎天満 滋明
- 松本 秀司 ○楠 新一

議長 一松 輝夫



議会運営委員会

- 西岡佳奈子 ○玉置 正之
- 天満 滋明 ◎山本 源昭
- 清水 正巳 松本 秀司



議会広報特別委員会

- 市ノ瀬 進 ○楠 新一
- 西岡佳奈子 ◎金崎 昭仁
- 天満 滋明 清水 正巳
- 山本 善啓

副議長 市ノ瀬 進

- ◎山本 源昭 清水 正巳
- 山本 善啓 天満 滋明
- 玉置 正之 楠 新一

行財政改革検討特別委員会

◎印は委員長
○印は副委員長

- ◎西岡佳奈子 金崎 昭仁
- 玉置 正之 市ノ瀬 進
- 楠 新一 松本 秀司

上下水道対策特別委員会

一部事務組合議会議員

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

金崎 昭仁

御坊広域行政事務組合議会議員

山本 源昭

御坊市外三ヶ町国民健康保険事務組合議会議員

西岡佳奈子

御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員

松本 秀司

日高広域消防事務組合議会議員

山本 善啓

御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員

玉置 正之

編集後記

百年に一度の不景気と言われている今日ですが、季節の移り変わりは早いもので、桜が満開となったとたんに編集をした議会だよりも、皆様のごところに届く頃には田植えの準備も始めているかと思えます。

私も十年ぶりに議会だよりの委員の一員として参加させていただきました。

よろしくお願ひします。

市ノ瀬